

《編集後記》

IRATSUME 8・9 合併号が、ようやく発行の運びとなりました。とにかく、これが出るまでは、頭の片隅にIRATSUMEの影がつきまとい、なかなか自由な気分になれませんでした。それだけに、いまは肩の荷が降りたようで、ホッとしています。

発行の遅れは、ここ数年恒例になってしまいました。今回は、ワープロ編集の不慣れ、編集者が多忙で作業がはかどらなかったことなどが、遅滞の最大原因ですが、投稿者の原稿の書き方やまとめ方、ボリュームなどの点で問題のあるものが多く、時間を要したことも事実です。原稿執筆という観点からも、各人のレベルアップを期待します。

そうはいったものの、内容面ではバラエティーに富んだ原稿が集まり、中身の濃いものが出来たのではないかと思います。とくに、地道な活動に裏付けられた生態観察に関するものが目を引き、他の同好会誌ではちょっと見られないユニークな会誌が出来たのではないかと自負しています。

ワープロ編集にも慣れ、今後の編集体制の土台ができたように感じます。来年はいよいよ10号。何か記念になるようなものを、と考えています。

最後に、ワープロを使用させてくださったり、入力の手助けをしてくださった方々（八洲化学工業、熊谷光江、小山賢一、磯野昌弘）にお礼を申し上げます。

IRATSUMEの編集に明け暮れているうち、いつの間にか季節は春まっ盛り。いよいよ虫のシーズン。さあ、フィールドへ出掛けよう！

IRATSUME No. 8・9

1985年5月15日発行

発行者：但馬むしの会

発行人：高橋 匡

編集者：谷角素彦・石田達也・足立義弘

連絡：☎668 豊岡市

木下賢司方